

デザイン

工芸

絵画

美術展

彫刻

美学・美術史学

図工・美術科教育

卒業制作展および学部生・大学院生、附属幼稚園児・小学生・中学生による作品展



国立大学法人
兵庫教育大学
Hyogo University of Teacher Education

2019 3/9 SAT ▶ 3/10 SUN 10:00~18:00 (入場は 17:30 まで)

※ 3/10 SUN 最終日は 15:00 まで

郷の音ホール
三田市総合文化センター

ひよーきょーびじゅつ 2019 こどもワークショップ!

スタンドグラスをとおりぬけて、こころまでたどりつく
うつくしいひかりをはなつ「ランプシェード」をつくらう!!

日 時 / 2019年3月9日(土)14:00~16:00

会 場 / 三田市総合文化センター 郷の音ホール1F ワーキングブース

講 師 / 兵庫教育大学芸術系教育分野コース(美術) 学生有志

対象・定員 / 小学生(先着順 20名)定員を超え応募いただいた場合は抽選になります。

参加費 / 300円(材料費・保険料)

持ち物 / なし

注意事項 / 作業しやすい服装でお越し下さい。

★参加申し込み方法

メールにて次の必要事項をご記入の上

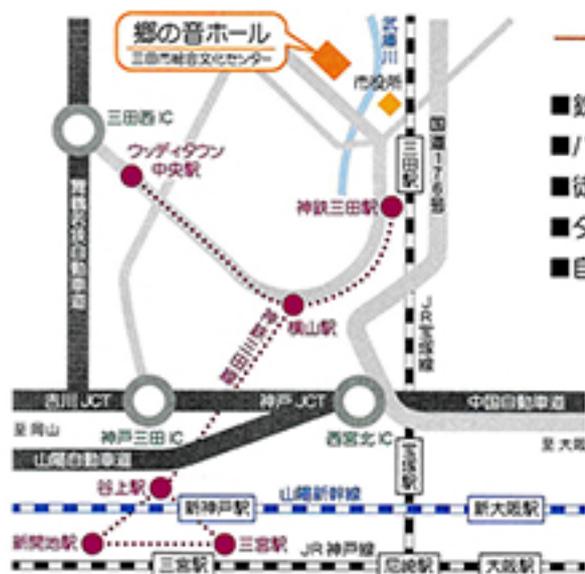
《finearts@hyogo-u.ac.jp》までお送り下さい。

- ①参加者と保護者のお名前(よみがな) ②参加者の年齢
③学校・学年 ④ご住所 ⑤電話番号

※参加いただける方のみ3月1日(金)までに、
こちらよりメールにて連絡をさせていただきます。

★応募締め切り 2月27日(水)

主 催 / 兵庫教育大学芸術教育コース(美術)



会場 郷の音ホールアクセス

- 鉄 道 … JR宝塚(福知山)線「三田駅」、神戸電鉄「三田駅」下車
- バ ス … 神姫バスで「三田駅」より約5分(「総合文化センター前」下車)
- 徒 歩 … 「三田駅」より西へ約12分(約700m)
- タクシー … 「三田駅」より約5分
- 自動車 … 中国自動車道「西宮北IC」より約20分
中国自動車道「神戸三田IC」より約15分
舞鶴自動車道「三田西IC」より約15分

●駐車場 400台(有料)

○ 8:00~23:00 4時間ごとに100円(30分までは無料)

○ 23:00~翌日8:00 出庫のみ可(2,000円加算されず)

〒669-1531 兵庫県三田市天神1丁目3-1

TEL 079-559-8100

ART EDUCATION NET ひょうご

第1回研究会／研究交流会

「美術教育の今—イマドキの”おもしろい授業” —」

日時 10月28日（日）13:00～17:00

場所 兵庫教育大学ハーバーランドキャンパス内兵教ホール

（アクセス：<https://www.hyogo-u.ac.jp/facility/khlc/access/>）

参加資格 美術教育に関心のある人／学校現場教員／兵庫教育大学OBなど

参加費用 無料

※メール広報受信をご希望の方は finearts@hyogo-u.ac.jp までご連絡ください

主催：Art Education Net ひょうご

後援：兵庫教育大学 都道府県連携推進本部

内容・時間割予定は以下の通りです。

ご興味のある方は、どうぞ自由にご参加ください！

○13:00-13:20 受付

●13:20-13:30 はじめに：創設を祝して

辻田嘉邦（兵庫教育大学名誉教授）

●13:30-13:50 基調提案：「美術教育の逆襲！—“イマドキ”の図工の授業について」

初田隆（兵庫教育大学教授）

●13:50-14:50 ケーススタディ#1～#4（各15分＋質問5分弱）

Case Study #1（13:50-14:10）

「イマドキの図工教科書：掲載図版にみる教育内容の変遷と変わりゆく”教師”像」

秋山道広（芦屋市立精道小学校）

Case Study #2（14:10-14:30）

「教師と〈造形遊び〉：教師の捉え方で変わる〈造形遊び〉の授業」

寺元幸仁（宍粟市立一宮北小学校）

Case Study #3（14:30-14:50）

「美術と教育の関係性：筑波大附属桐が丘養護学校教諭時代の考えを中心に」

前芝武史（兵庫教育大学准教授）

○14:50-15:00 休憩（10分）

●15:00-16:00 ケーススタディ#4～#6（各15分＋質問5分弱）

Case Study #4（15:00-15:20）

「共感覚的な感性経験を基軸とした指導の展開：イマドキの図工授業を求めて」

古家美和（たつの市立御津小学校）

Case Study #5（15:20-15:40）

「研究の現場より：子どもの立体造形に関する発達段階をめぐって」

浅海真弓（兵庫教育大学准教授）

Case Study #6（15:40-16:00）

「そのときどきの流行り廃り：戦後70年の美術教育の軌跡と変遷からみえるもの」

大西洋史（関西国際大学准教授）

○16:00-16:10 休憩（10分）

●16:10-17:00 フリートーク：美術教育の今—イマドキの「おもしろい授業」—

初田隆（兵庫教育大学）＋秋山道広（芦屋市立精道小学校）＋寺元幸仁（宍粟市立一宮北小学校）＋前芝武史（兵庫教育大学）＋古家美和（たつの市立御津小学校）＋浅海真弓（兵庫教育大学）＋大西洋史（関西国際大学）

司会：平野兼伍（姫路市立曾左小学校）・寺元幸仁（宍粟市立一宮北小学校）＋大西久（兵庫教育大学准教授）

小学校の先生になり8年目になりました。子どもたちとの学習の中で一番楽しいのは図工です。子どもたちが教材や材料など、様々な出会いの中で自己表現していく姿やその過程に触れることができるのはとても楽しいです。なかなか普段美術教育について学ぶ時間が取れないので、ぜひプラスになることを学べたら！と思っています。みなさんどうぞよろしくお願いいたします！

畑 優香 旧姓小林

(学部 26 期/丹波市立上久下小学校)

初任で、3年生を担当しています。図工も専科でなく、自分で子どもたちと一緒にできるのが、悪戦苦闘しつつも日々楽しく授業をしています。よりよい授業づくりのために、勉強したいと思っています！先生方や、懐かしい方々にお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

岡崎 紗佑美

(学部 31 期・修士 37 期/芦屋市立潮見小学校)

私の大学院生活での実り多かった学び……。現場に戻って転勤。復帰後の残り少ない現職教員生活の中で、自分なりに4年計画で図工室の環境整備や授業改善を考えていた。

だが、現実には厳しい。「図工は、作業でいいんですよー、西田先生。あの子らに合っていないんです。造形遊びとかいらんのです、高度すぎます。」と言われたり、「参観日の教室掲示用に物語の絵が欲しい」という、陳腐な描き方指定つきのご無理依頼があったり、「〈造形遊び〉の材料費は、児童の教材費からは引き落とし禁止です」という内規に困ったりで……。10年余り前と実は変わりのない、これらの色褪せた現実に、どのようにたち向かえばよいのだろうか？

でも、そのような落胆の日常の中に、ある日一筋の希望の光が差し込んだ。それが『AENひょうご』設立のお知らせだった。校内では一人職である図工専科だからこそ、外部とつながりたい。大学院の先生方や先輩方とそしてここに繋がるすべての人々と。。

今日も山あい三田の地で、地味にしびとくがんばって呼吸する。

『図工って大事なんだ!!』

西田 牧子

(修士 37 期/三田市立三輪小学校)

受験を終え、教育大学に入学した当初、それまで自分が受けてきた教育を振り返ったときに、唯一理解できなかったのが美術でした。当時は、そういう認識の仕方でした。しかし、魅力は一方向的に感じ続けてきたわけです。結局、志していた数学や理科ではなく、誘惑に負けたかたちで美術に所属しました。以後、立場はコロコロ変われど、今も美術にくっついていきます。はじめに申し上げるべきでしたが、この度、このような機会を設けてくださった皆様には、大変感謝しております。爽やかな風が吹き込むことを期待しております。私自身は中途半端な存在ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

多鹿 宏毅 (学部21期/北はりま特別支援学校)

創設準備事務局では、なりゆきそのまま広報デザイン制作を担当、曾左小学校の平野兼伍先生とともに「楽しい悪戦苦闘」を続けているところです。美術教育に関して、楽しい人材交流と真に刺激的で実質的な内容のある情報交換とを目指すうえでは、視覚的な広報も“ちょっと面白い、カッコ良いイメージ”で迫りたい、美術教育をめぐる皆さんの夢と理想をさらに高めるイメージを創出したい！と願っています。イタリア・ルネサンス美術史学専攻の私にとって、デザイン・ディレクションは精一杯の素人仕事なのですが。。皆さまどうぞ暖かくお見守り下さい。

喜多村 明里 (兵庫教育大学教授)

子どもが粘土で人体をつくと・・・?

浅海・初田



レッジョの粘土

写真の作品は何歳児のものと思いますか？
しっかりと二足で立っているし、プロポーションもある程度は整っており、動きも顔の表情も、なかなか楽しいものとなっています。

これは、イタリアのレッジョエミリアという都市で行われている実践で、5～6歳児の作品です。ここに至るには、並大抵のことではないの言うまでもありません。

さて、日本の子どもたちが、粘土で人体をつくとどうなるのでしょうか？ 2017年6～7月に、兵庫教育大学附属幼稚園・小学校・中学校の子どもたちに「男の人をつくってください。できるだけ正確につくりましょう」という投げかけで、特段の指導はせずに制作してもらいました。

結果、幼稚園で立像を意識して作ったものは無く、小学校低学年からは、ある程度立たせるための工夫が見られたものの、中・高学年でも、早い段階で立たせることをあきらめてしまうケースが多数となりました。

立たせるための工夫がさほど見られなかったことにも増して興味深いのは、人体の表現が下の様なパターンに類型化されるのではないかということです。



クレープ



ひも



クッキー



団子+パーツ

粘土をクレープ状に引き伸ばして、さながら絵を描くように表現するパターンは、幼・小学校低～高学年に数件見られました。鉛筆などで描く代わりに粘土のひもで線を描くように輪郭を表現するパターンは低学年に数件見られました。粘土という素材を用いて、粘土板の上に絵を描いているのではないのでしょうか。

クッキーのような半立体的な表現は広範に見られます。顔は団子を作ってからへこませているので、意図的にクッキー状に表現しようとしているにちがいがなく、目鼻はパーツの貼り込み、口やまゆ毛などはへらで描くといった方法です。団子+パーツ表現は、顔は球、胴体はブロック状等となっており、立体への意識はうかがえるものの、目や鼻、ボタンなどのパーツはクッキー表現と同様です。

これは幼稚園から大学生まで広範にみられ、三次元の存在を三次元として表すというよりも、人体のパーツを多少の厚みをつけて作り、描くことに近い感覚でそれらのパーツをつないでいるに過ぎないのではないかと、また、顔については、球や球をややへこませたものを基底面として、目の部品を上へのせたり口を描いたりしていると考えられます。ローウェンフェルドは、「絵をかくときやっかいなことは、三次元的にみる周囲を、紙の上では二次元の表現にうつさなければいけないということですが、粘土工作では、その必要がありません。粘土では、三次元のものはいくらでも三次元のまま表現すればいいのです」と述べていますが、立体で表現することは、実は、とても困難な作業で、特別の訓練が必要なものなのかもしれない、と感じているところです。



芸術コース美術分野
アート・カフェ #3



Art Café



イタリア短期探検報告会！！

4月26日[水] (原則毎月第4水曜日)

13:30~16:30 芸棟101室にて
(ガラス張りの多目的室)

*参加自由、所属は問いません



美術散歩

→ 初田隆先生

→ リトルボーイ実験



「Little Mickey Boy」について

左の図をご覧ください。これは、ミッキーマウスですが、随分妙なミッキーですね。図8の用紙に、ミッキーマウスを描いてもらうという実験を行ったのです。小学生から、70代のお年寄りまで、多数の方に協力してもらいましたが、小学生は、変なミッキーを描いてみんなで大笑い、大学生やお年寄りは苦笑いやテレ笑い。なかなか楽しい実験でした。

さて、ミッキーマウスはよく知っているキャラクターなので、すぐに描けると思うかもしれませんが、いざ描こうとすると、意外と難しいものです。わかっていると思っていることが、実はかなり不確かなのだ、ということに気がつくと思います。

図8の形は、実はリトルボーイ（広島に落とされた原子爆弾）のシルエットにミッキーの耳を描き足したものです。原爆の恐怖は私たちにとって、世界中のだれよりも重いものであるはずですが、時間とともにその記憶は薄らいでゆき、同じように、原子力発電（事故）の恐怖も、すでに薄らいできているのかもしれませんが。

覚えているはずのミッキーが再現できなくても、みんなで笑い合えば楽しいだけですが、原子力の脅威が次第に不確かな記憶となっていくというのでは、人類の未来は保証されないのではないのでしょうか。

そんな思いで、昨年、「Little Mickey Boy」という作品を作りました（図9 第67回行動美術展出品）。作品のコンセプト、わかっただけでしたか？

リトルボーイの全長は312センチです。180×360センチのキャンバスに、原寸大のリトルボーイのシルエットを描いて、髭のついたミッキーの顔を描きこみました。その前にPCを1台設置し、みんなに描いてもらった、変なミッキーの画像をスライドショーで提示していく、という作品にまとめました。

尚、キャンバスには、「だまされていたとって平気でいられる国民なら、おそらく今後も何度もだまされるだろう。いや、現在でもすでに別の嘘によってだまされ始めているにちがいないのだ」という、伊丹万作の言葉をかきそえてみました。この言葉は昭和21年に書かれたものですが、現在の状況にもぴたっと当てはまっていると思いませんか？

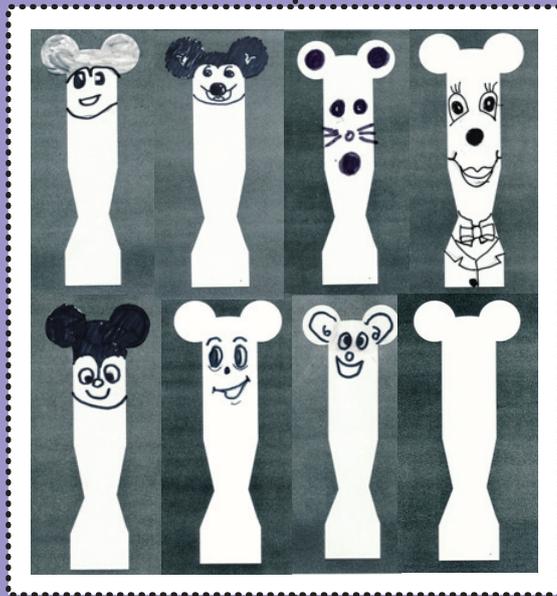


図1-7 奇妙なミッキー

図8

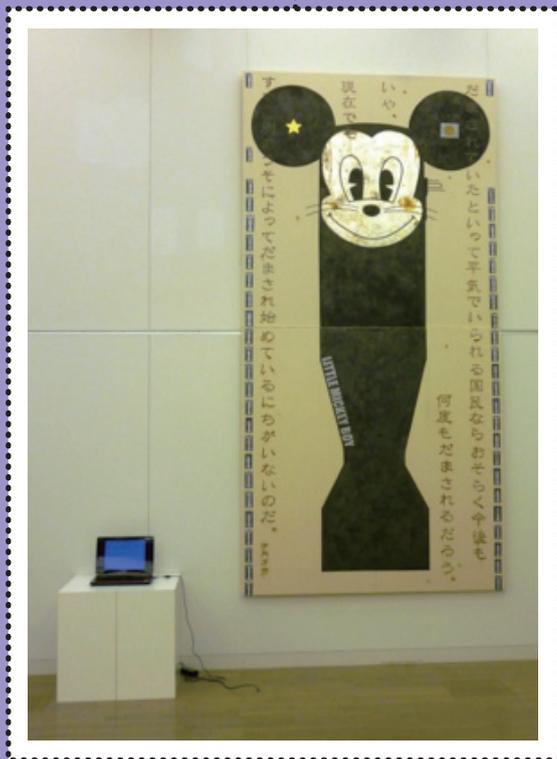


図9 展示風景（国立新美術館）